

熊本県デジタル化推進計画の概要

I 熊本県デジタル化推進計画について

- 熊本県情報化推進計画の期間(令和3年度～令和5年度)満了に伴い、県全体のデジタル化を全庁的に更に推進するための新たな計画を策定
- 本計画は「くまもとDXグランドデザイン」の実現に向けたデジタル施策の具体化を図る計画であり、「官民データ活用推進基本法」に基づく法定計画を兼ねる
- 本計画の期間は令和6年度(2024年度)～令和10年度(2028年度)の5年間

II 計画の基本的な考え方

基本理念	人口減少による人材不足をはじめとする <u>様々な地域課題を解決</u> し、将来にわたって <u>本県の強みを生かした地域活力を創出し続ける</u> ため、県全体であらゆる分野におけるデジタル化、DXを推進	
目指す姿	(1)産業発展・所得向上の実現 各産業でのデジタル技術の活用により生産性向上等を実現	(2)快適・安心な生活環境の実現 デジタル技術を積極的に活用し、快適・安心な生活環境を実現
基本的な施策の方向性	業務プロセスの見直しとデジタル化を一体的に推進する視点を持って、デジタル化、DXに向けた取組みを推進	
横断的な重点取組事項	(1)デジタルデータの活用	(2)AI等新たなデジタル技術の活用

III 今後の取組み

1 産業発展・所得向上の実現

(1)生産性の向上(業務効率化、省人化等)

- ◎各産業(製造業、農林畜水産業、観光業、建設業等)におけるデジタル技術の導入支援、活用方法に関する理解向上
- ◎技術の活用方法に関する研究・開発と、知見の外部提供

(2)新たな付加価値の創出(品質向上、生産量増加、収益向上等)

- ◎各産業におけるデジタル技術・データ活用の促進
- ◎データを活用した生産技術等の研究・開発
- ◎デジタル化に対応できる人材の育成、確保

(3)各種産業振興施策等との連携

- ◎くまもと半導体産業推進ビジョン、UXプロジェクトの推進
- ◎移住定住・関係人口創出の取組み、地域づくりの支援

- ◎県産あさり産地証明支援システムなどトレーサビリティシステムの取組み
- ◎モニタリング等を通じた渋滞の実態把握・分析

<主なKPI>

- ・ デジタル技術を活用した県内企業(製造業)の新たな取組み件数
- ・ 水稻栽培におけるスマート農業活用面積の割合
- ・ スマート林業技術等を導入した事業者の割合
- ・ スマート養殖技術を導入した事業者数

- ・ 公共工事におけるICT活用工種数
- ・ 県の事業を活用してデジタル化に取り組んだ観光・宿泊事業者の数
- ・ 観光DMPを利用している団体数
- ・ プロフェッショナル人材のマッチング成約件数(累計)

2 快適・安心な生活環境の実現

(1)医療・介護・福祉の推進

- ◎ICT・ロボット等の導入支援、時間と場所を問わない相談対応
- ◎くまもとメディカルネットワークなど医療情報の共有による質の高い医療サービスの提供
- ◎アプリ等を活用した健康の見える化・健康づくり支援

(2)防災・災害対策

- ◎国・自治体による一体的な情報伝達、情報共有体制の整備
- ◎県民、市町村への災害危険性に関するデータの公開
- ◎避難情報、生活支援情報及び避難所運営のデジタル化

(3)住民利便性の向上

- ◎行政手続のオンライン化、手数料収納等のキャッシュレス化
- ◎閲覧資料等の電子化及びオンラインサービス
- ◎マイナンバーカードの取得促進、行政手続等における利活用推進

(4)教育環境の整備

- ◎1人1台端末を活用した児童生徒の情報活用能力の育成
- ◎遠隔授業の推進、ICTを活用した学びの機会の提供
- ◎大学等と連携したデジタル教育の推進

<主なKPI>

- ・介護ロボット・ICT機器を導入している入所系施設の割合
- ・「くまもとメディカルネットワーク(KMN)」に参加している県民数
- ・防災情報のデジタル発信など、避難の円滑化に資する取組を行った市町村数
- ・県への総申請件数中オンラインで申請可能な件数の割合
- ・1人1台端末を授業でほぼ毎日活用している学校の割合
- ・遠隔授業を実施している高校の数

3 施策の前提となる県の取組み

「1 産業発展・所得向上の実現」、「2 快適・安心な生活環境の実現」を実施する上で前提となる県の取組みについても着実に推進

(1)デジタル環境の整備

- ◎情報通信基盤の整備、データ連携基盤の運用、セキュリティの確保
 - ・エリア・データ連携基盤の運用と活用推進
 - ・企業における情報セキュリティリテラシーの向上

(2)デジタル化に係る理解向上

- ◎DX機運の醸成・実装支援、県職員のDX理解の向上
 - ・くまもとDX推進コンソーシアムにおける取組み
 - ・DX実装を後押しする企業マッチング支援

(3)県行政におけるデジタル化の推進

- ◎業務プロセス改革・働き方改革、情報システムの整備
 - ・「デジタル県庁実行プログラム」の推進
 - ・業務フローの見直し、BPRの実施

(4)市町村DXの支援

- ◎体制構築・技術導入支援
 - ・県から市町村へのデジタル専門人材の派遣
 - ・県、市町村による情報システムの共同調達、運用

<主なKPI>

- ・「エリア・データ連携基盤」への共同参画市町村数
- ・セキュリティ対策に取り組んでいる企業の割合
- ・DXの取組みの必要性を認識している企業の割合
- ・「デジタル県庁実行プログラム」による業務効率化の時間数
- ・全庁的なDX推進体制(全庁方針、横断的体制、人材確保・育成)を整備している市町村数

IV 計画の推進体制

1 デジタル化推進本部による全庁的な推進体制

「熊本県デジタル化推進本部」により計画進捗の確認、関連事業の具体化、検討などを行い、実効性を高める

2 計画の実現に向けた手順(事業化の検討)

(1)KPIなど計画の進捗確認

(2)年度方針の調整

(3)実施計画の策定

(4)計画の見直し